



## 病院の概要

開設	昭和21年3月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	野村 明広
病床数	358床
標榜科 (28科)	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、精神科、病理診断科、リウマチ・膠原病内科
医師数	55人
指導医数	32人
研修医数	5人
研修医の主な 出身大学	筑波大学、東京医科大学、宮崎大学、旭川医科大学
外来患者数	821.1人/日(平成29年度実績)
入院患者数	270.6人/日(平成29年度実績)

## 募集要項

応募資格	2020年3月国家試験合格見込者
採用人数	6人(予定)
試験日程	2019年8月(予定)
選考方法	面接
処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身分：常勤医師</li> <li>■給与：1年次 基本給30万円/研究手当5万 2年次 基本給35万円/研究手当10万</li> <li>■賞与：1・2年次 夏季手当 基本給の1ヵ月分</li> <li>■1年次 年末手当 基本給の1ヵ月分</li> <li>■2年次 年末手当 基本給の2ヵ月分</li> <li>■社会保険：有り ■公的年金：有り</li> <li>■労働災害保険：有り ■宿舎：単身用有り</li> </ul>

## 病院見学対応状況

- 見学時間…随時(平日)
  - 対象…全学年
  - 宿泊…可能(無料)  
研修医の宿舎に宿泊可能(要確認)
  - 問い合わせ先…担当者：秘書室  
阿部 または 庶務課 玉田
- TEL：0280-87-8111  
E-mail：shomuka@seinan-mch.or.jp



## 応募・問合せ先

## 茨城西南医療センター病院

〒306-0433 茨城県猿島郡境町2190  
 担当者：秘書室 阿部 または 庶務課 玉田  
 TEL：0280-87-8111(内線2421)  
 FAX：0280-86-7702  
 E-mail：shomuka@seinan-mch.or.jp  
 URL：http://www.seinan-mch.or.jp



- JR東北線の場合  
古河駅西口より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分
- 東武伊勢崎線の場合  
東武動物公園駅より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分
- 常磐自動車道 谷和原ICより約50分
- 圏央道 境古河ICより約7分

## 女性医師支援

- ・院内保育所の設置  
(0歳児から小学校就学前)  
(毎週月・木は24時間保育)
- ・妊娠中、育児中の当直勤務免除
- ・育児短時間勤務可能



保育所

## 研修プログラムの特色

全ての必須科目、選択必須科目において、幅広い医学、臨床の基本的知識、技能、姿勢を習得可能である。なかでも救命救急センターは三次救急のほか一次、二次救急も対象としているため、早期よりプライマリ・ケアの基本的診療能力が可能である。

筑波大学附属病院、水戸協同病院を協力型臨床研修病院としており、同院の診療科で必修科目の研修も可能である。

第一線の中核病院として、地域医療を支えている小児科や産婦人科でのアクティブな研修も可能。更に、「いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト」に参加し、選択枠ではプロジェクトに参加する病院での選択研修も可能。

## 研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (3ヵ月は筑波大学附属病院又は水戸協同病院で研修可)						救急			選択必修1		
2年次	選択必修2			地域医療	※ 選択							

選択必修：外科・小児科・産婦人科・精神科から2科を選択

地域医療：茨城西南医療センター病院附属八千代診療所

※選択枠では、筑波大学附属病院の他に「いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト」に参加する下記の病院での選択研修が可能です。

【参加病院】 ● J Aとりで総合医療センター（取手市） ● 友愛記念病院（古河市）  
● 霞ヶ浦医療センター（土浦市） ● 茨城西南医療センター病院（当院）

## 研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本外科学会認定医制度修練施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設
- ・日本呼吸器外科学会関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本脳神経外科学会専門医制度訓練施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- ・日本脳卒中学会研修教育病院認定施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・日本胸部外科学会関連施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設（補完施設）
- ・日本小児科学会小児科専門医制度専門医研修施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・日本がん治療認定機構認定研修施設

## 病院からメッセージ



研修責任者  
飯塚 正 内科部長

当院は救命救急センター（年間受診者数 15,254 人、年間救急車搬送数 3,181 件）を擁しており、1次から3次救急まで多数かつ多様な症例を診療しています。また、第一線の地域中核病院として、各科が連携協力して専門性の高い医療を提供し、当地域の最後の砦として地域医療を支えています。

「鉄は熱いうちに打て」とことわざにありますが、研修医時代に幅広い医療を多く体験し、知識と技術を会得することは、医師としてどの方面に進もうともきわめて重要です。当院の症例、指導医、設備いずれも充実した医療環境の中で研修することは、それらを可能にします。当院の提供する豊富な研修材料を利用して、何でも貪欲に吸収しようとする熱意ある研修医を求めます。



研修医  
柘植 弘光

西南は少人数の研修医を医師以外の職種も含めた病院全体で育てる風潮があり、どの診療科においても充実した経験と知識を得ることができます。また病院の規模が大きすぎず、医師の数も限られているため、研修医が診療に参画できる割合が大きいです。自分のやる気次第で様々な処置や手術に参加し経験を積むことができます。

分からない事があったときに、研修医から当該診療科の先生に気軽に相談できるのも西南の特徴です。どの先生も研修医それぞれのレベルに応じて細かく指導をさせていただきます。

この他にも沢山の魅力がある研修病院です。ぜひ一度見学に来て西南の研修を肌で感じてみてください。